

ワーカーズ共済情報

2023年4月1日から 保障内容が変わります

2023年4月に保障内容を大幅に改定することになりました。2021年から2022年にかけて検討チームで合計9回討議し、議論の結果、改定案がまとまり、2023年1月30日付けで関東財務局より承認を得ることができました。

加入しているワーカーズメンバーの高齢化、申請者の分配金の増加により保険金額の増加が今回改定の大きな要因となっています。

現在の保障より低くなりますが、保障内容改定のみならずワーカーズ共済の継続性を担保するために大勢の加入者が重要です。2023年もワーカーズの皆さんのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。 W.Coかぐや姫 泰中 智美

ワーカーズ共済申請承認件数【2月度】

- 就業中傷害保障 14件(通院8件、休業6件) 749,950円
 - 病気休業保障・就業外傷害休業保障(83件)
 - *コロナ感染 54件 コロナ濃厚接触 17件 1,799,740円
- 合計 97件 給付金額 2,549,690円

関西W.Co連合会のワーカーズ共済加入は
11ワーカーズ、88名です。(2023年3月1日現在)

学習会「ワーカーズとは」を 語れるようになろう 報告

1月14日(土)
13:30~15:30
Zoom開催

私たちは、長年ワーカーズを運営していますが、今一度立ち止まって改めてどのように語れば、ワーカーズを広めていくことができるのかを学習し直したいと考えて、この学習会を企画しました。

講師は、「北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会」事務局長の嶋 明美さんをお願いしました。代表理事の齊藤 佳代子さんもオブザーバーとして出席してくださいました。連合会メンバー14名が参加しました。

はじめに、北海道協議会の歴史、「働き方講座」の紹介、札幌市から委託された事業もあったなどの話をさせていただきました。

次に、ワーカーズとはの話に移り、ワーカーズとは、「協同労働を通して社会矛盾を解決していく」「労働と社会性が一致している」「労働の対価として報酬を得る」「非営利を謳っているが、利益を出してもよい、ただし利益を出すためにサービスを低下させてはいけない」などを話されました。

その後、ワーカーズを伝えるときのポイントは何か?の話になり、「ワーカーズでよかった!と思えるところ」をひとつかふたつ、自分の言葉で語ることがを身につけたらそれだけでワーカーズを知らない人に十分、伝えることができると話されました。難しいワーカーズの理念を話さなくても、自分が感じている、ワーカーズでよかった!を伝えていくことだけで十分ということで、気が楽になりました。このことは私にとって、とても大きな収穫でした。

参加者の感想として、連合会を運営する意義を再確認できた、ワーカーズの働きは誇りを持てる働き方とわかった、新人研修の大切さを再認識したなどがありました。嶋さんの、やわらかな語り口で相手に伝えようとしていたところが勉強になった、という声もあり、大変有意義な学習会でした。

W.Coふろんと 田口 志保

「ワーカーズ・コレクティブあすか」を 3月20日付けで解散します

1994年10月に、個人配達をワーカーズで受託しようと「ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)あすか」を設立しました。すでに、組合員活動の流れから嘱託として配達していました。生活クラブ神奈川の受託ワーカーズの方が講演してください、各地域で個配ワーカーズが設立されました。W.Coあすかはメンバー13名、受け持ち組合員数約780名でスタートし、数年後には、メンバー34名、受け持ち組合員数約1千400名と大所帯になりました。メンバーが増えたことで、話し合いの場を多く設け、意見が出しやすい工夫をしましたが、いろいろな問題が出て、試行錯誤の日々でした。

組合員とのコミュニケーションを大切にこない、組合員が組合員に届けることの意義を持ち続けました。しかし、スタッフの高齢化体の不調などで退職者が多く出て、求人をお回がしましたが思うように応募がなく、解散を皆で決定しました。多くの仲間、やりがいのあるワーカーズ運営を経験できたことは、私たちの財産です。

W.Coあすか 山田 恵子

一時は赤字が膨らみ、どうしたらよいか、給与の出し方や働き方など皆で考え直しました。他ワーカーズの方にも、どう運営しているのか教えていただき、参考にさせていただきました。その時に運営する難しさ、黒字になった時の達成感を味わうことができ、ワーカーズの醍醐味だと思いました。組合員の声から、高齢者、障害者の方の対応コースを作り、個々

